

受付印	
収入印紙	円
予納郵便切手	円
予納登記印紙	円

審判
家事調停 申立書 事件名 性別の取扱いの変更

(この欄に収入印紙をはる。
1件について甲類審判 800円分
乙類審判 1,200円分
調停 1,200円分)

(はった印紙に押印しないでください。)

準口頭	関連事件番号 平成 年(家)第 号
-----	-------------------

家庭裁判所 御中 平成23年9月23日	申立人 〔又は法定代 理人など〕 の署名押印 又は記名押印	田中 太郎	印
---------------------------	---	-------	---

添付書類	申立人の戸籍謄本 1通、相手方の戸籍謄本 通 診断書 1通、陳述書 1通、住民票 1通
------	--

申 立 人	本籍	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。)	
		東京都 杉並区 * * * * *	府 県
	住所	〒 168 - 0082	電話 03 (3333) 3333
		東京都杉並区 * * * * *	(方)
	連絡先	〒 -	電話 ()
	同上	(方)	
	フリガナ	タナカ タロウ	大正
	氏名	田中 太郎	昭和47年9月23日生 平成
	職業	会社員	
※	本籍	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。)	
		都 道	府 県
	住所	〒 -	電話 ()
			(方)
	連絡先	〒 -	電話 ()
		(方)	
	フリガナ		大正
	氏名		昭和 年 月 日生 平成
	職業		

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、申立人、相手方、法定代理人、事件本人又は利害関係人の区別を記入してください。

申 立 て の 趣 旨

申立人の性別の取扱いを男から女に変更する審判を求めます。

申 立 て の 実 情

1 申立人は、子供の頃から女の子と遊ぶのが好きで、女性の服や化粧品に興味がありました。中学生の頃からは、先輩や同級生の男性に恋愛感情を持ち、自分が男性であることが嫌で、自分の体に違和感や嫌悪感を感じました。大学に入り、自分が男性であることが嫌でたまらなくなることがあり、就職しましたが、我慢ができなくなり、会社を辞め、日常生活でも女装をするようになりました。しかし、父母はそのような申立人を認めることができず、口もきかなくなりました。

2 家族から認められず、精神的に不安定となったので、平成**年**月、**大学病院精神科を受診し、「性同一性障害」と診断され、精神的サポートを受け、女性ホルモンの投与を受け、平成**年**月に陰茎、陰囊切除手術、平成**年**月及び同年**月**日に性別適合手術を受けました。乳房もふくらみ、女性型体型ともなり、心理的には女性であることを表明し、家族の理解も得られています。現在は、同じような境遇の者が働くお店に勤めております。

3 申立人は、このように外見も中身も女性なのに、戸籍などの性別欄が男となっているため、社会生活上不便な思いをすることがあります。したがって、性別の取扱いを男から女に変更する審判を求めます。なお、申立人は、結婚もしていませんし、子供もいません。

(注) 太枠の中だけ記入してください。